

城南家保ニュース Vol.25-5

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



牛白血病の対策について

牛白血病の発生が全国的に増加しています。城南家畜保健衛生所においても、人吉・球磨獣医師会や酪農若手経営者グループ、肉用牛放牧組合を対象に、それぞれで牛白血病の実態と対策についての研修会を行いました。研修会では、まず牛白血病の実態や清浄化推進事例、対策を説明し、その後、意見交換をおこないました。

牛白血病の対策は下記のとおりで、各飼育者、関係団体、臨床獣医師、削蹄師、人工授精師などが、現状より牛白血病ウイルスの感染牛を増やさないという強い意識をもつことが大切です。

- ①陽性牛・陰性牛の分離飼育：検査により、陽性牛、陰性牛を分けて飼うことが大切。まず、かかりつけの獣医師に相談しましょう。
- ②初乳対策：感染牛からの初乳中のリンパ球は大量のウイルスを含んでいます。初乳は、凍結したもの、あるいは加温殺菌したものを与えましょう。
- ③媒介昆虫対策：サシバエとアブは感染源となります。殺虫剤や忌避剤（ETB乳剤等）の散布や防虫ネットを張るなど、媒介昆虫の対策に努めましょう。
- ④搾乳順序の入替：搾乳順番は、陰性牛から始めましょう。
- ⑤器具等の消毒：除角器具、鼻環装着器具や耳票装着器具、人工授精注入器等は特に消毒を徹底しましょう。
- ⑥飼養衛生管理基準の遵守：踏込槽の設置、毎日の観察など日常からの基本的な衛生管理が大切です。



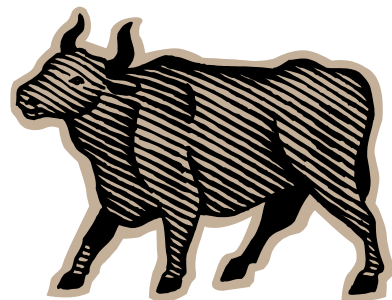
体表リンパ節の腫大



牛白血病を媒介するアブ

水上村肉用牛繁殖向上研修会が開催されました

7月24日に水上村役場大会議室において、ほぼ水上村全戸の繁殖農家が出席の上肉用牛繁殖向上研修会が開催され、当家保の川邊参事が講演しました。今回は肉用牛繁殖雌牛の子牛生産性の向上を目的とし、給餌量や運動を中心とし、妊娠中期や分娩前、授乳期など時期に合わせた飼養管理と、年間を通して肉用繁殖牛巡回指導の結果と、その対策等について詳細に説明を行いました。研修後には、各農家から具体的な餌管理の方法や遺伝病について質問が多く出されました。



城南家畜保健衛生所において、このような肉用牛繁殖向上研修会を毎年、管内の巡回指導を行っている全域で実施し、子牛生産の向上を図っています。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	7月22日	牛	O
		7月 5日	牛・豚	A
	モンゴル	7月4・6日	牛・山羊・羊	A
	ロシア	6月24日	牛・羊・豚	A
高病原性 鳥インフルエンザ	ネパール	5月28日 ～6月2日	家きん	H5N1
低病原性 鳥インフルエンザ	台湾	5月15日	鶏	H5N2亜型
狂犬病	台湾	7月22日 ～7月28日	イタチアナグマ	

編集後記

毎日、猛暑が続いていますが、この頃農家を巡回していると、暑くて牛の種付きが悪いという話をよく聞きます。そもそも、暑さもありますが、牛自体の発情が弱くなってきていることは、ほぼ全ての畜産関係者も、うなずく話し。高齢のベテラン飼育者も、「昔の牛は発情期になると目が違ってきたが、今の牛はおとなしく、鳴きもしない」とよく言う。おとなしい雌牛の傾向は、人の世界とは逆になってきている気がします。今の若者を見たら、草食系男子及び肉食系女子が増えており、女性の方が「あの男の子、かわいい」と噂をし、男性は顔を赤くしている。「これでいいのか、日本」と家で叫んでいると、妻から「うるさい」と怒られた。そういえば、妻も肉食系であった。(城南家保のジャイアン)